



新 落  
えふ かとし

春  
町  
作

歌  
麿  
画



馬 騾  
馬 騾  
馬 騾  
馬 騾



国  
特別  
196

国  
24  
4



40.8.26  
7306531



病 おと

嘸 むか

戀川

春町

作

驛 るま

路 ろ

の

馬士 まご

唄 うた

後篇 ご

瓶元山口屋

おまゝのまゝなつみのせうぎ  
 らいとのかのみぎんあり  
 春沢 平つらん  
 ちびやとや角をやみづのきふ  
ニリマ  
 いふらふよきやうもありげいふ  
 小栗判官のまゝ古流ふきり  
 又左りさんみずの池ありあわし  
 きつていふ人かみおんとたちよりそ





くま  
 林  
 「さしつかへもあらだぬき。サアうけりせ  
 林 杉をやーとむけてサアあんづくま  
 「あつとさつちりくろびづががい  
 よしとどけた林 あんづくま  
 むげるくどらとと林 ナゼくま 八  
 もりがさる林 ありくま そんな  
 もつかけよう杉をくま とうけてくま  
 又杉をくま うよくま 二八くま



林  
 八くま 林  
 「さしつかへもあらだぬき。サアうけりせ  
 林 杉をやーとむけてサアあんづくま  
 「あつとさつちりくろびづががい  
 よしとどけた林 あんづくま  
 むげるくどらとと林 ナゼくま 八  
 もりがさる林 ありくま そんな  
 もつかけよう杉をくま とうけてくま  
 又杉をくま うよくま 二八くま

ゆうじんごきま「サア、ちづりなせしとげ  
 ひふしがらりとらうくとゆく向すり  
 くるハ十七八だうりな女帝あげくと  
 きて男をおひすることおんも  
 ちもよぬす男ふつれたちそゆその  
 ちまよーとニク「きいてる男「おま  
 ちあんがあら女「い、エふたちやあ  
 じやうしあぬが、ちいさんが人よりたんと

ある男「ちいさんが人よりたんと  
 ある女「まづけ者よ六人男「リニテ  
 女「何戸ふ半十人男「きもとつづり  
 ちれいさうせしよあるのもうそれぎら  
 女「い、まごがこがこ半十人男「ナ  
 何戸ふ半十人上ふ半十人け者小六  
 それがちいさん女「け、一母のた  
 のちいさん男「ナゼ女「ア、ちいさん

たつらりれ十とてい

きりだんが牛腰ふあかちびりこい

むくふつけるひつうのまふく

大磯

山田系、  
ロリ

いふてをや夫いその町ふつり

まのふ虎がーとらふはけまのまふ

あつがくまこふみそそく大なるあ

林  
いんふそのそであいかーこがちら

あんごの大人いさのちーまき

いもれなとぶとて 終 終

幼平 林 いれもちまきせぬ

く 林 いんる 林 天川屋いん 林 や

あ 林 葉 林 ち 林 り 林 び 林 と 林 ち 林 く 林 も 林 ち 林 れ 林 ぬ 林 終 終

林 林 い 林 ま 林 れ 林 ぬ 林 を 林 ぶ 林 さ 林 く 林 ま 林 林 ば 林 天川 林 や

あ 林 葉 林 の 林 ち 林 ち 林 け 林 で 林 こ 林 ち 林 ち 林 林 林 こ 林 い 林 つ 林 の

い 林 ち 林 れ 林 ぶ 林 っ 林 て 林 の 林 ち 林 の 林 ち 林 林 林 こ 林 れ 林 も 林 ち

しきりなまよひのさ 林「けんまのさ  
流づつらやの女くま「サアその中の女  
つしぎられて 林「中こころの女いままご  
だんきり。仕りませぬ

ちりちりの見習ふの假名うらが  
すびりもまきもさきききききき

小回系

既に 海

け者小いりて向ふと見ればハッむね

づいこのおふかんさんよららららと  
うしてあやましくや小回系の名お  
なれづれと束めおが 林「あ  
るん 林「いりてますな 男「やせッ  
すまいづみ 林「いりてますな 男「やせッ  
日もあふか 林「いりてますな 男「やせッ  
やと 林「いりてますな 男「やせッ  
それおあし 林「いりてますな 男「やせッ



それへーちしーまひはひみで肉の  
女中帯の成のしんまひよとてサア  
とまひいひまはまひまひまひと  
ひん三人くさまひくし将もやらんま  
ちりくしとくしとくしとくしとくし  
くも成ニ七人より金てのなんましとく  
と成おれりまづつゆの成丁くすじ  
くまを地面残しとらふとちのふ

今人しそれいづこくしとくしが今太きく  
なまらふおれり又ゆのまひとく  
ゆまひまひくしとくしとくしとくし  
かこまひのまひとくしとくしの回地七八はん  
もそのおれりまひのいづかいはあてが  
ておれりまひとくしとくしとくしとくし  
ふとくしとくしとくしとくしとくしとくし  
くまひとくしとくしとくしとくしとくし

大だいのちもつたれちれんばん「おれそふ  
 ーぎちんをーたどちんをん  
 ーふをふとふをばうだんするが  
 とあふて女がうとよびてそらだんが  
 できらうとまきけいバガ「おれもでき  
 ません林「ナゼ女「ハテ小田原おたんと  
 うらうのあねのへいね作らて  
 時をきいたらうセツをさごとく

箱根

おれがーしてゆくはどよよ向ふより  
 子どももどきまてこまでござれ  
 うまでござれくとら然もちて先  
 たらしてゆく林「あるふおれまふる  
 うらなんごは子供わこまでござれ  
 とちをゆくとまきけいバガ「おれも  
 あそこふあま湯があるうとらふその  
 まらうよなんちくよもたやむせん

みちまへ  
 三ツ大付





文  
圖書  
年度

文  
L  
3